

感染症発生状況

平成30年9月19日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年9月10日（月）～9月14日（金）の定点における発生状況をお知らせします。
定点23園の対象人数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 434名

1日あたりの延べ欠席者数 86名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数91名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では **熱（201名）**、咳・鼻水（70名）、下痢・腹痛（59名）嘔気・嘔吐（8名）

疾病ごと **気管支炎・肺炎（16名）**、手足口病（15名）、ヘルパンギーナ（13名）、とびひ（8名）

RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、手足口病、とびひが流行中です。特に保育所等でのRSウイルス感染症に要注意です。

【症状別の発生状況】

気管支炎・肺炎 河北，盛南，河南，都南地域で減少。玉山，厨川地域で増加しました。
手足口病 河北，盛南地域で減少。玉山，厨川，都南地域で増加しました。
ヘルパンギーナ 盛南，河南地域で減少。厨川，都南地域で増加しました。
とびひ 河北地域で減少。厨川，河南地域で増加しました。

【県の状況（9/3～9/9）】

ヘルパンギーナは多くの地区で増加し、県央及び宮古地区では警報値（定点あたり患者数6人）を超えました。乳幼児を中心に流行する急性のウイルス性咽頭炎で、主な症状は38℃以上の突然の発熱と喉の痛み、口内に現れる小さな水疱性の発疹です。予防には、患者との濃厚接触を避け、十分な手洗いや排泄物の適切な処理を行うことが重要です。

手足口病は、県央地区で3週続けて警報値（同5人）を超えています。ヘルパンギーナと同じエンテロウイルス属による感染症で、同様の対策が重要です。髄膜炎や脳炎などを併発する場合がありますので、頭痛、嘔吐、高熱が続く場合は医療機関の受診が勧められます。

RSウイルス感染症は、二戸，奥州地区で報告数が多い状況が続いています。乳幼児に多い急性の呼吸器感染症で、例年秋から冬にかけて流行します。咳やくしゃみ、ウイルスが付着した手指などを介して感染するため、咳エチケットや手洗いによる予防が重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】